

学びの灯

ようこそ、広島都市学園大学 子ども教育学部へ

子ども教育学部には、様々な研究をされている先生方がいらっしゃいます。

このページでは、毎月、一人一人の先生方の思いや考え方などを記していただき、読んだ皆さんの心や頭に「学びの灯」をともします。

一つ一つの「灯」は、いくつか集まると、きっと大きな明るさとなり、皆さんの未来を明るく照らすものとなるでしょう。

また、ある「灯」は皆さんの拠り所となって、どんなときであっても、希望と温かさを保ち続けてくれるでしょう。

さらに、皆さんが「新しい灯」をともし、多くの人々の未来を明るく照らすことに役立つことでしょう。

さあ、今月は、どんな灯でしょうか？



春になったら外に出かけよう

子ども教育学部・教員 白神 聖也

春になりました。期待に胸を膨らませ、新たな気分で新生活を始めようとされている方も多いことと存じます。

この季節にちょっと外に出かけませんか。ウグイスが鳴き始めました。「ホーホケキョ」と鳴いているのは雄だけで、なわばりを主張して雌を誘っているのです。菜の花（アブラナ）の黄色い花が見られるようになりました。道ばたにはタンポポ、シロツメクサ、ホトケノザ、カラスノエンドウも咲き始めました。地面に目を向けるとアリも活動し始めたのがわかりますね。道路のブロックの隙間にはシハイスミレのなかま（マキノスミレなど）も咲いているのがわかります。街路樹では、モクレンやコブシの花が咲いています。気温が上がってくると樹木も一斉に葉を出し始め、新緑が美しい季節になります。水温が上がると、魚たちも盛んに活動を始めます。

ツクシは3月に一番たくさん見ることができますが、ツクシは何ものなのかわかりでしょうか？ツクシは、スギナというシダの胞子をつくるための茎です。スギナは胞子のほか、地下茎を伸ばしてふえるので、スギナが生えているところを夏や秋に知っておくと、春にツクシが出る場所がだいたいわかります。ツクシは胞子を出したらすぐに枯れますので、短い命ですが、そのあとは地下茎でつながった仲間たちがスギナの黄緑色の葉を一斉に出してきます。また、飛び散った胞子からできた前葉体で卵細胞と精子をつくり、受精をして新個体を作ります。

花見に行った方もいるでしょう。花見の名所で植えられているサクラはほとんどがソメイヨシノです。ソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラを人工的にかね合わせた雑種で、野生のサクラに比べて寿命は短く、種子もほとんどできません。したがって、台木に接ぎ木をしてふやしていきます。

このように、春は生命の躍動が見られるようになる季節です。是非、自然からたくさんのお話を学んでください。そして、自然からたくさんのお元気をもらってください。